

第8章 医療従事者の確保	第1節 医師	<b>数値目標</b>
		人口10万人あたり医師数（医療施設従事医師数）
		医学修学研修資金利用者数
		医学修学研修資金貸与者の県内医療機関勤務者数
		<b>(1) 現状</b>
		ア 医師数の状況
		イ 医療施設に従事する医師数の地域別の状況
		ウ 初期臨床研修の状況
		エ 医療施設に従事する女性医師数
		オ 県内公的病院等の状況
		カ 県内の医師養成数
		キ 県外の医師養成数
		ク 医学修学研修資金貸与の状況
		ケ 医学部医学科に進学する本県の学生
		<b>(2) 課題</b>
		ア 医師数の状況
		イ 医師の確保
		<b>(3) 対策</b>
		ア 医療対策協議会
		イ ふじのくに地域医療支援センター
		ウ 医師数の状況把握
		図表8-16 ふじのくに地域医療支援センターの機能・主要な業務
		エ 医師の確保
		(ア) ふじのくにバーチャルメディカルカレッジの取組
		(イ) 県内外の大学との連携
		(ウ) キャリア形成支援
		オ 適切な医師配置
		カ 再就業支援及び離職防止
		キ 医師の勤務負担軽減
		ク 医師就労等相談・情報提供

<b>1 基本的事項</b>
(1) 計画策定の趣旨
(2) 計画の位置付け
(3) 計画の期間
<b>2 医師確保の方針</b>
<b>(1) 現状と課題</b>
ア 医師数の状況
イ 医学修学研修資金の状況
ウ 本県の医師養成数
エ 臨床研修医の状況
<b>オ 「新専門医制度」の状況</b>
カ 医療施設に従事する女性医師の状況
キ 医学部医学科に進学する本県の学生
<b>ク 医師の働き方改革</b>
<b>(2) 医師少数区域・医師多数区域の設定</b>
<b>(3) 医師少数スポット</b>
(4) 医師確保の方針
<b>3 目標医師数</b>
<b>4 目標医師数を達成するための施策</b>
(1) 医学修学研修資金制度
(2) 地域枠医師の確保
(3) キャリア形成プログラム
(4) 専攻医の確保・定着促進策の推進
(5) 寄附講座
(6) 研究・学修環境の整備
(7) 女性医師の活躍支援
(8) 高齢医師等の活躍支援
(9) 高校生等への支援による医学科進学者の増
(10) 医師の働き方改革を踏まえた勤務環境改善支援
<b>5 産科・小児科における医師確保計画</b>
(1) 産科・小児科における現状と課題
(2) 現状と課題を踏まえた施策
ア 産科・小児科の効率的な医療提供体制
イ 寄附講座（再掲）
ウ 産科医等確保支援策の実施
エ 産科・小児科の専門医研修プログラムの策定推進
オ 臨床研修医の定着促進
カ 医療機関の機能分担・連携強化
キ 医師の働き方改革を踏まえた勤務環境改善支援（再掲）

第7章 医療従事者の確保	第1節 医師	<b>数値目標</b>
		県内医療施設従事医師数
		医学修学研修資金利用者数
		医学修学研修資金貸与者の県内医療機関勤務者数
		<b>(1) 現状</b>
		ア 医師数の状況
		イ 医学修学研修資金の状況
		ウ 本県の医師養成数
		エ 臨床研修医の状況
		<b>オ 「新専門医制度」の状況</b>
		カ 医療施設に従事する女性医師の状況
		キ 医学部医学科に進学する本県の学生
		<b>ク 医師の働き方改革</b>
		<b>ケ 医師少数区域・医師多数区域の設定</b>
		<b>コ 医師少数スポット</b>
		<b>(2) 課題</b>
		ア 医師数の状況
		イ 医師の確保
		<b>(3) 対策</b>
		<b>目標医師数</b>
		ア 医学修学研修資金制度
		イ 地域枠医師の確保
		ウ キャリア形成プログラム
		<b>エ 医師少数スポットの設定</b>
		オ 専攻医の確保・定着促進策の推進
		カ 寄附講座
		キ 研究・学術環境の整備
		ク 女性医師の活躍支援
		ケ 高齢医師等の活躍支援
		コ 高校生等への支援による医学科進学者の増
		サ 医師の働き方改革を踏まえた勤務環境改善支援
		シ 産科医等確保支援策の実施
		ス 医療機関の機能分担・連携強化

目標医師数は、医師少数区域を脱する値を国から付与されたものであり、現行計画における“現状値”等は不明。そのため、「(3) 対策」の冒頭に位置づける。

**中間見直しにおける新設項目**

- ・「新専門医制度」の状況
- ・医師の働き方改革
- ・医師少数区域・医師多数区域の設定
- ・医師少数スポット
- ・目標医師数

※上記は、何れも令和2年3月策定「医師確保計画」内において、位置づけをしている項目である。